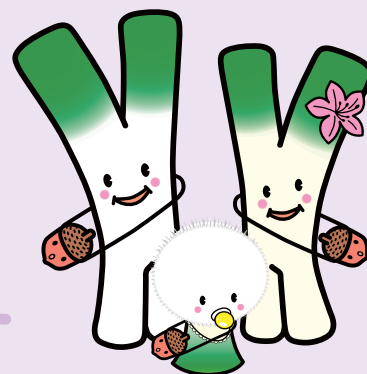


# ③『こころ』がいきいき

〈豊かな心と人を育み、人を大切にするまちづくり〉

- ① 豊かな心を育む学校教育の推進
- ② 青少年の健全育成
- ③ 市民文化の振興と歴史的遺産の保存・活用
- ④ 生涯学びあい、スポーツを楽しめる社会の実現
- ⑤ 互いの人権を尊重しあう社会の実現
- ⑥ 男女がともに輝く社会の実現



# 3 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にするまちづくり

まちづくりの基本方向

## 1 豊かな心を育む学校教育の推進

### 基本計画 ① 小・中学校教育の充実

#### 現況と課題

少子高齢化、情報化、国際化など、子どもたちを取り巻く社会状況が急速に変化するなかで、地域社会における安心・安全の確保をはじめさまざまな問題が生じています。また、価値観の多様化やライフスタイルの変化などにより、教育に対する課題やニーズが多様化しています。子どもたちの社会性の低下や規範意識の希薄化、特別な支援を要する子どもの増加、いじめ、暴力行為などの問題行動や不登校への対応など、さまざまな課題が生じているなかで、学校教育においては「生きる力」を育むために必要な施策を的確に講じていく必要があります。

このため、知（確かな学力）、徳（豊かな人間性）、体（健康・体力）の調和のとれた人間形成をめざし、米子市版小中一貫教育を推進するなかで、確かな学力と豊かな人間性を有し、心身共にたくましい子どもたちの育成を図っていく必要があります。

#### 計画目標

- 1 豊かな人間性と創造力をもった子どもの育成を図ります。
- 2 確かな学力を身につけた子どもの育成を図ります。
- 3 健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成を図ります。

#### 主な施策

##### 1 心の教育の推進

- 道徳教育の充実
- 郷土愛を育む学びの充実
- ボランティア活動や体験活動の実施

##### 2 人権教育の充実

- 自尊感情を高める指導の充実
- 豊かな人権感覚と実践的な態度の育成

##### 3 生徒指導の充実

- 校内指導体制・教育相談活動の充実
- 関係機関との連携

##### 4 キャリア教育の充実

- 小中学校 9 年間の指導計画に基づいた系統的な指導
- 職場体験学習の実施

##### 5 環境教育の充実

- 総合的な学習の時間における学習の充実
- ボランティア活動や体験活動の実施



**6 学力の向上を図る学びの充実**

- 基礎的・基本的な学力の定着
- 思考力・判断力・表現力を育てる教育の充実

**7 特別支援教育の充実**

- ユニバーサルデザインの授業づくりの充実
- 特別支援教育を推進するための環境整備

**8 外国語活動・英語教育の充実**

- 英語指導助手 (ALT) や地域人材の活用

**9 図書館教育の充実**

- 学校図書館ネットワークを活用した図書館教育の推進
- 地域読書ボランティアを活用した朝読書の充実

**10 情報教育の充実**

- ICT 機器や情報通信ネットワークを積極的に活用した授業実践
- 情報モラルに関する指導の充実

**11 体力・運動能力の向上を図る取組の充実**

- 指導方法の工夫改善による児童生徒の体力・運動能力の向上
- 豊かなスポーツライフの実現へむけた意欲と実践力の育成

**12 健康教育の充実**

- 定期健康診断による疾病の予防と早期発見
- 基本的な生活習慣や食生活の形成

**13 いのちの教育の充実**

- 喫煙、飲酒、薬物乱用、メディア依存などに関する学習の推進
- 自他の生命を尊重しようとする態度や実践力の育成

**14 安全教育の充実**

- 危険な要因の理解や危険を予測する力の育成
- 災害から身を守るための態度や実践力の育成

**【関連する個別計画】 米子市教育振興基本計画**

ふるさと米子の先人に学ぶ郷土資料集

# ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にするまちづくり

まちづくりの基本方向

## 1 豊かな心を育む学校教育の推進

### 基本計画 ② 学校施設の整備・充実

#### 現況と課題

本市には、小学校が23校、中学校が10校、特別支援学校が1校、また、米子市日吉津村中学校組合立の中学校が1校あり、施設整備面においても多様化する教育内容や教育方法などへの対応に努めているところですが、進行する老朽化などに適切に対応し、児童生徒の生活の場として安心・安全な施設環境を整備していく必要があります。

#### 計画目標

1 学校施設の整備・充実を図ります。

#### 主な施策

- 1 学校施設の耐震化事業の推進
  - 学校施設の耐震改修
- 2 学校施設の老朽化対策の推進
  - 学校施設の大規模改修
  - 屋外遊具の整備
  - 学校施設の改修、改善

【関連する個別計画】 米子市教育振興基本計画



湊山中学校校舎耐震補強事業



後藤ヶ丘中学校校舎大規模改修事業

## 数値目標

指標名		学校施設の耐震化率			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標1】 学校施設の整備・充実を図ります。		児童生徒の生活の場として安心安全な施設環境を整えるため、非木造で2階建て以上または延べ面積200㎡以上並びに木造で3階建て以上または延べ面積500㎡以上の学校施設のうち、耐震化が不要または完了済みの施設棟数の割合です。 基本構造部分の耐震化事業に取り組むことによって、耐震化率を100%にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H27	H32
65.9%	68.8%	77.7%	85.3%	98.2% (年度末見込値)	100%

## 参考資料

## 学校施設の耐震化の推移

(単位：棟、%)

区分	棟数	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		耐震化済棟数	耐震化率	耐震化済棟数	耐震化率	耐震化済棟数	耐震化率
小学校	100	60	60.00	62	62.00	64	64.00
中学校	66	40	60.61	42	63.64	44	66.67
特別支援学校	4	4	100.00	4	100.00	4	100.00
合計	170	104	61.18	108	63.53	112	65.88

(単位：棟、%)

区分	棟数	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
		耐震化済棟数	耐震化率	耐震化済棟数	耐震化率	耐震化済棟数	耐震化率
小学校	100	64	64.00	74	74.00	84	84.00
中学校	66	49	74.24	54	81.82	57	86.36
特別支援学校	4	4	100.00	4	100.00	4	100.00
合計	170	117	68.82	132	77.65	145	85.29

&lt;資料：教育総務課&gt;

# ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にすまちづくり

まちづくりの基本方向

## 1 豊かな心を育む学校教育の推進

### 基本計画 ③ 学校給食の充実

#### 現況と課題

食の安全・安心に対する関心の高まりとともに、徹底した食中毒防止対策を講じるなど、衛生管理の充実を図った学校給食の提供がますます重要となってきました。また、子どもたちの食をめぐる環境では、偏った栄養摂取や朝食欠食、孤食などさまざまな問題が生じています。

本市では、平成27(2015)年4月から全ての中学校で学校給食を開始しました。今後も安全で安心な学校給食の提供に努めるとともに、学校給食の提供や食育を通じて、食と自分の体について学ぶことで、子どもたちの規則正しい食生活習慣や食に関する実践力を養うとともに、子どもたちや保護者に対して食生活の大切さを伝えていく必要があります。

#### 計画目標

- 1 安全で安心な学校給食の安定供給を図ります。
- 2 学校における食育を推進します。
- 3 地産地消を推進します。

#### 主な施策

##### 1 安全で安心な学校給食の安定供給

- 調理事業者との定期連絡会の実施と調理場の衛生管理などの定期検査の実施
- 安全で安心な学校給食をめざした学校給食運営委員会の開催
- 食物アレルギー対応の適正な実施
- 児童生徒および教職員を対象にした学校給食にかかるアンケートの実施

##### 2 学校における食育の推進

- 栄養教諭などにおける給食時間の学校訪問
- 栄養教諭などによるチーム・ティーチング<sup>①</sup> 授業への参画
- 試食会などを利用した保護者への講演
- 給食だよりの配布

##### 3 地産地消の推進

- 生産者と児童生徒の交流の実施
- 鳥取県やJAと食材の生産・流通などについての情報交換の実施と地産地消の推進
- 郷土料理や行事食、児童生徒から募集した地元食材を利用した献立の提供

#### 【関連する個別計画】 米子市教育振興基本計画



①複数の教師などがチームをつくり、協力して授業を行う指導方法のこと。



## 参考資料

## 食育に係る学校訪問回数

(単位：回)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
チーム・ティーチング授業	174	171	109	114	108
給食訪問	567	703	764	846	1,083
講演会	41	36	34	31	33

## 学校給食の食数の推移

(単位：食)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	8,719	8,602	8,540	8,291	8,232
中学校	727	767	727	748	724
合計	9,446	9,369	9,267	9,039	8,956

&lt;資料：学校給食課&gt;



米子市立第二学校給食センター

# ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にするまちづくり

まちづくりの基本方向

## 2 青少年の健全育成

### 基本計画 ① 青少年の育成支援

#### 現況と課題

核家族化や少子高齢化などの進展に伴い、近年地域社会の連帯感の希薄化が進み、また、パソコンやゲーム機、スマートフォンなどによるインターネット利用が青少年の生活に深く浸透してきています。これらの青少年を取り巻く環境の変化は、野外を中心とした体験活動や世代間などの交流の不足につながり、青少年の健全な成長に影響を与えています。

次代の米子市を担う青少年が、自主的、主体的に行動し、健やかでたくましく生き抜く力を身につけるために、幼少期から成人するまでの各年代に応じて、家庭・学校・地域・行政が連携して、体験や交流をはじめとした青少年の健全育成の取組を進めていく必要があります。

#### 計画目標

- 1 体験・交流活動を推進します。
- 2 国際的視野・感覚をもつ青少年の育成を図ります。
- 3 各種青少年団体の健全育成活動の支援に努めます。

#### 主な施策

##### 1 体験・交流活動の実施

- 児童文化センターでの事業、体験・交流活動の実施
- 子ども会での体験・交流活動の実施

##### 2 国際的視野・感覚をもつ青少年の育成

- 国際交流体験事業の実施
- 青年海外協力隊活動への支援

##### 3 各種青少年団体の育成・活動支援

- 米子市子ども会連合会の活動支援
- 青少年育成米子市民会議の活動支援
- 青少年に関係するボランティア団体の活動支援

【関連する個別計画】 米子市教育振興基本計画



米子市児童文化センター



米子市児童文化センター事業  
(こいのぼりに入っちゃお)



## 数値目標

指標名		児童文化センターの年間利用者数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標1】 体験・交流活動を推進します。		クラブ活動やプレーパークなどの体験・交流活動を進める児童文化センターの利用者数です。 親子が一緒に参加できる事業や講座内容の充実により利用者数の増加を図り、少子化で子どもの数が減少するなか、過去5年間の平均である17万人まで引き上げること为目标とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
164,366人	194,160人	182,328人	168,325人	168,325人	170,000人

指標名		国際交流体験事業の参加者数 <年間>			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標2】 国際的視野・感覚をもつ青少年の育成を図ります。		外国の文化にふれ、外国青年と交流し国際感覚を養う国際交流体験事業の参加者数です。 現在は市内小中学生全員にチラシを配布するなどの広報をしていますが、今後は配布範囲を拡大するなどさらに周知に努めるとともに、より魅力あるものになるよう内容の見直しを行うことによって、現在の参加者数を20%引き上げ、600人にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
35人	39人	33人	500人	500人	600人

指標名		子ども会加入者の小学校児童数に対する割合			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標3】 各種青少年団体の健全育成活動の支援に努めます。		子ども会ではさまざまな体験、交流活動や集団活動など、子どもが自主的に行動し、たくましく生きていく力を身につける活動を行っています。近年、団体への加入を避ける風潮も一部に見られることなどから子ども会に加入しないケースも増え、小学校児童数に対する子ども会加入者の割合は徐々に低下してきていますが、広報などを通じて加入促進に努め、加入割合の現状値を維持・向上することを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H27	H32
93.1%	92.3%	90.2%	90.9%	90.2%	91%

# ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にすまちづくり

まちづくりの基本方向

## 2 青少年の健全育成

### 基本計画 ② 青少年の非行・被害防止

#### 現況と課題

社会の少子高齢化や情報化、国際化などの進展は、家庭や学校、職場、地域など青少年を取り巻く環境にもさまざまな影響を及ぼしています。

米子警察署管内の刑法犯少年の検挙人数は減少傾向にありますが、引き続き、非行の未然防止への取組を進める必要があります。

情報化の進展に伴い、近年パソコンやスマートフォンなどを通じたインターネット利用が青少年にも浸透してきており、そこに含まれる有害な情報や不適切な使用によるいじめや個人情報の拡散などの問題が発生しています。これらが青少年の非行につながったり、青少年が犯罪の加害者や被害者になることを未然に防止するために、青少年、保護者に対するインターネットの適切な利用法の啓発の取組が必要です。

このような環境に囲まれている青少年を社会全体で温かく見守るとともに、啓発活動や街頭などでの巡回・指導活動、有害環境の除去活動を引き続き実施し、青少年の非行や被害の防止を図っていく必要があります。

#### 計画目標

- 1 青少年の非行防止活動を推進します。
- 2 青少年の被害防止活動を推進します。
- 3 少年指導委員および少年育成センターの活動の充実を図ります。

#### 主な施策

##### 1 青少年の非行防止活動の推進

- 少年育成センターを中心とした青少年非行防止活動の推進
- 少年指導委員による巡回・指導・声かけ活動の実施
- 非行防止のための児童・生徒、家庭、地域社会への啓発の充実
- インターネットの不適切な利用を防止するための家庭内ルールづくりの啓発

##### 2 青少年の被害防止活動の推進

- 少年育成センターを中心とした青少年被害防止活動の推進
- 少年指導委員による巡回・指導・声かけによる青少年の被害防止
- 被害防止のための児童・生徒、家庭、地域社会への啓発の充実

##### 3 少年指導委員および少年育成センターの活動の推進

- 少年指導委員の意識高揚および指導技術向上のための研修の充実
- 少年指導委員の活動促進のための情報交換会の開催



地域の見守り活動

【関連する個別計画】 米子市教育振興基本計画

## 数値目標

指標名		街頭指導、巡回パトロールの回数 ＜年間＞			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標1】 青少年の非行防止活動を推進します。		近年、学校間での生徒同士のトラブルが目立つようになってきている状況に鑑み、少年育成センターで行っている街頭指導・巡回パトロールをこれまでの米子駅前中心の実施範囲に加え、多数の児童・生徒が集まる体育行事や地域の祭礼、ゲームセンターなどにおいても実施するなど、街頭指導・巡回パトロールの範囲を拡大するとともに、回数についても年間100回にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
75回	79回	79回	79回	79回	100回

指標名		「こどもかけこみ110番」の設置箇所数 ＜平成9年度からの累計＞			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標2】 青少年の被害防止活動を推進します。		本市が取組をはじめた平成9年度以降の設置箇所の総数です。 全国で子どもたちの安全を脅かす事件が頻発している状況に鑑み、登下校時など、外出中の子どもたちを犯罪や不審者から守るために設置している「こどもかけこみ110番」を、昼の時間帯に常時人がいる事業所などを中心に新たに210箇所増やし、2,265箇所設置することを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
1,858箇所	2,046箇所	2,053箇所	2,055箇所	2,055箇所	2,265箇所

指標名		少年指導委員人数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標3】 少年指導委員および少年育成センターの活動の充実を図ります。		青少年の非行、犯罪を抑制するため、きめ細かい巡回を行うなど地域でのさらなる取組が必要であることから、子どもにかかわる団体に対し呼びかけるなどして、巡回パトロールや街頭指導などを行う少年指導委員を各地区2名ずつ増やし、268人にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
218人	217人	216人	214人	214人	268人

# ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にすまちづくり

まちづくりの基本方向

## 3 市民文化の振興と歴史的遺産の保存・活用

### 基本計画 ① 芸術文化活動の推進

#### 現況と課題

本市では、文化施設などにおいて市民が優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供するとともに、市民自らが参加できる場として市の美術展覧会や音楽祭、秋の文化祭などを開催することによって、芸術文化活動の普及・推進に努めています。

しかしながら近年、一人ひとりの価値観や芸術文化へのかかわり方が多様化しており、これに伴って文化行政に対するニーズも変化してきています。

このため、市民との連携をいっそう深めながら、市民ニーズに応じた芸術文化活動の普及と情報発信に取り組むとともに、老朽化した文化施設の計画的な改修・整備などにより、芸術文化活動を安全快適に行うことができる環境を整備していく必要があります。

#### 計画目標

- 1 優れた芸術文化を鑑賞できる機会の充実を図ります。
- 2 多数の市民が参加できる芸術文化の発表機会を提供します。
- 3 さまざまな芸術文化に関する普及活動・情報提供を推進します。
- 4 文化施設の改修を図ります。

#### 主な施策

- 1 **優れた芸術文化を鑑賞できる機会の充実**
  - 美術館での常設展、特別展などの企画・実施
  - ホール各館での自主事業の実施
  - 学校公演事業の実施
- 2 **多数の市民が参加できる芸術文化の発表機会の提供**
  - 米子市美術展覧会の実施
  - 鳥取県美術展覧会の実施
  - 米子市音楽祭の実施
  - 米子市秋の文化祭の実施
- 3 **さまざまな芸術文化に関する普及活動・情報提供の推進**
  - 米子市文化奨励賞の贈呈
  - 文化活動団体などの発表会、公演事業に対する後援および広報
  - 国・県・文化支援団体などの支援・助成に関する情報提供
  - 国・県・市開催事業に関する情報提供
- 4 **文化施設の改修・整備**
  - 文化ホールの改修・整備
  - 淀江文化センターの改修・整備

【関連する個別計画】 米子市教育振興基本計画  
伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）

## 数値目標

指標名		美術館・ホール各館で行う鑑賞事業の年間入館者数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標1】 優れた芸術文化を鑑賞できる機会の充実を図ります。		芸術文化を鑑賞できる機会の充実を図ることによって、美術館や公会堂、文化ホール、淀江文化センターで行う鑑賞事業の入館者数を2.5%引き上げ、平成28年度～平成32年度の5年間の平均値を53,000人にすることを目標とします。 ※ 現状値は、過去5年間(平成22年度～平成26年度)の平均値			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H22～H26平均	H28～H32平均
49,076人	50,810人	53,199人	65,974人	51,700人	53,000人

※ 参考値のうち、平成23年度は公会堂、平成24・25年度は美術館・公会堂が施設改修により閉館したため、それぞれ直近年の実績値を合算し算出しています。

指標名		市民等による芸術文化の発表の場となる主な事業への出品数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標2】 多数の市民が参加できる芸術文化の発表機会を提供します。		市民の芸術文化活動の発表の機会となる「米子市美術展覧会(米子市美術館で開催)」の出品数を5%引き上げ、平成28年度～平成32年度の5年間の平均値を320点にすることを目標とします。 ※ 現状値は、過去5年間(平成23年度～平成27年度)の平均値			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H23～H27平均	H28～H32平均
341点	300点	314点	303点	305点	320点

指標名		市民等による芸術文化の発表の場となる主な事業への参加団体数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標2】 多数の市民が参加できる芸術文化の発表機会を提供します。		市民の芸術文化活動の発表の機会となる、公会堂、文化ホール、淀江文化センターで実施される「米子市音楽祭」の出演団体数および「米子市秋の文化祭」への参加団体数の合計を5%引き上げ、平成28年度～平成32年度の5年間の平均値を122団体にすることを目標とします。 ※ 現状値は、過去5年間(平成22年度～平成26年度)の平均値			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H22～H26平均	H28～H32平均
119団体	105団体	115団体	119団体	116団体	122団体



基本計画 ① 芸術文化活動の推進

指標名		米子市ホームページ「文化の窓」に掲載する団体数 ＜平成25年度からの累計＞			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標3】 さまざまな芸術文化に関する普及活動・情報提供を推進します。		本市が取組をはじめた平成25年度以降の掲載件数の総数です。 文化、芸術の振興などに寄与すると認められる公共性のある団体などのPRや活動内容などを紹介するため、米子市ホームページ上のコンテンツ「文化の窓」に掲載する団体数を毎年5団体ずつ増やし、33団体にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H27	H32
—	—	6団体	7団体	8団体	33団体



米子市公会堂



米子市美術館



第56回米子市音楽祭オープニングコンサート「祝演」



第45回日展米子展

1 「あした」がいきいき

2 「ひと」がいきいき

3 「じふ」がいきいき

4 「ふるさと」がいきいき

5 いきいきとした「まちづくり」



# ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にすまちづくり

まちづくりの基本方向

## 3 市民文化の振興と歴史的遺産の保存・活用

### 基本計画 ② 文化財の保護と活用

#### 現況と課題

本市には、古代から近代にいたるまでの長い歴史や伝統、特色ある風土に育まれた有形・無形の文化財が数多くあります。文化財は郷土に対する誇りと愛着を生み出すだけでなく、独自性をもった魅力ある地域づくりを進めるうえで欠かすことのできない存在でもあり、これを適切に保護・保存し次代に継承していくことには大きな意義があります。

このため、文化財の指定を進めることはもとより、さまざまな歴史的文化遺産についての調査研究や情報発信、資料提供を行うなど積極的な利活用を図ることによって、文化財の価値を高め、文化財について楽しみながら学び、親しむことができる環境づくりを推進していく必要があります。

#### 計画目標

- 1 文化財保護の充実を図ります。
- 2 文化財の活用を推進します。
- 3 淀江町誌の編さんを推進します。

#### 主な施策

##### 1 文化財の保護の充実

- 国、県、市の指定文化財の保護および保存
- 未指定文化財の保護の促進
- 文化財の調査研究の推進
- 米子城跡の整備
- 伯耆古代の丘の整備

##### 2 文化財の活用の推進

- 文化財に関する展示、公開の推進
- 文化財に関する講座、講演会、体験学習など活用事業の展開
- 文化財に関する情報発信の推進
- 山陰歴史館の整備

##### 3 淀江町誌の編さんの推進

- 淀江町誌の編さんと刊行配本
- 資料の調査研究と保存



国史跡 米子城跡

【関連する個別計画】 米子市教育振興基本計画  
伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）

## 数値目標

指標名		指定文化財および登録文化財件数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標1】 文化財保護の充実を図ります。		市内の国、県、市の指定文化財および登録文化財の件数です。 貴重な文化財を保護、保存、活用することは、郷土の歴史や文化などを正しく理解し、豊かな未来を創造するために必要なことです。 未指定文化財について調査・研究を行い、毎年2件程度の指定および登録を行い、74件にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H27	H32
63件	63件	65件	64件	64件	74件

指標名		歴史関係施設の年間利用者数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標2】 文化財の活用を推進します。		山陰歴史館、福市考古資料館、埋蔵文化財センター、上淀白鳳の丘展示館の常設展、企画展などの観覧者数、講座、講演会などへの参加者数および資料照会件数の合算です。 各施設での展示の充実、出前講座、史跡めぐりなどの普及活動の実施、情報提供の促進などにより、年間利用者数を約5,000人増やし、25,000人にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
22,682人	24,309人	23,518人	20,429人	20,429人	25,000人

## 参考資料

## 米子市内指定文化財一覧

(単位：件)

区分	件数
国指定文化財	11
県指定文化財	13
市指定文化財	26
国登録有形文化財	11
国選択文化財	2
県選択文化財	1
合計	64

(平成27年9月1日現在)

&lt;資料：文化課&gt;



上淀白鳳の丘展示館

## ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にするまちづくり

まちづくりの基本方向

### 4 生涯学びあい、スポーツを楽しめる社会の実現

## 基本計画 ① 生涯学習活動の推進

### 現況と課題

価値観の多様化、自由時間の増大、高齢社会の到来など社会情勢が急速に変化するなか、生涯を通じた学習で自らの個性と能力を伸ばし、生きがいやゆとりのある生活を過ごしたいという市民は増えてきています。

このような状況において、市民が主体的に「いつでも、どこでも、誰でも、何でも」学べる機会を提供することが重要になってきており、学習成果が地域づくりなどの活動につながるなど、家庭や地域社会のなかで適切にいかされることが求められています。

このため、市民の学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供、学習成果の活用をはじめとした生涯学習活動を推進していく必要があります。

### 計画目標

- 1 生涯学習に関する情報の提供と相談機能の充実に努め、今日的課題や地域課題に対応した多様な学習機会の提供を図ります。
- 2 公民館を拠点として行われる市民の主体的・自主的なコミュニティ活動などの支援を図ります。
- 3 図書館の利用促進を図ります。
- 4 生涯学習施設の整備を図ります。

### 主な施策

#### ① 学習機会の提供・生涯学習に関する情報の提供と相談機能の充実

- 人生大学、公民館大学・社会教育講座、アカデミーなどの多様な学習機会の提供
- 文化・生涯学習ネットや公民館ホームページの充実
- 生涯学習に関する相談機能の充実

#### ② 市民の主体的・自主的なコミュニティ活動などの支援

- 公民館の利用に関する広報・PRの実施
- 地域住民の主体的・自主的な活動への支援

#### ③ 図書館の利用促進

- 図書資料の充実
- 子ども読書活動の推進
- 講演会などの実施による利用者拡大
- 広報活動の充実

#### ④ 生涯学習施設の整備

- 明道公民館の整備

【関連する個別計画】 米子市教育振興基本計画



## 数値目標

指標名		公民館の年間利用者数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標2】 公民館を拠点として行われる市民の主体的・自主的なコミュニティ活動などの支援を図ります。		人口の減少や余暇の過ごし方の多様化などにより公民館の利用者の減が予想されるなか、公民館の利用についてさまざまな利用形態を想定した広報、PRの実施や、公民館祭など地域の多くの人が集う主催事業の充実、地域が中心となって活動する自主的、主体的事業のサポートなどにより、公民館を拠点に行われる各種事業への継続的な参加を図ることによって、公民館の年間利用者数を370,000人にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
375,780人	362,536人	366,609人	360,968人	360,968人	370,000人

指標名		図書館の年間個人貸出冊数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標3】 図書館の利用促進を図ります。		リニューアルオープンにより個人貸出冊数は以前の約1.46倍となりましたが、生涯学習や情報提供、さらには子どもの読書活動を支える拠点としての役割を担う図書館において、多種多様な市民ニーズに応えた図書・資料を充実させ、新規の利用者の拡大を図ることによって、年間貸出冊数を現状の3%以上引き上げ、640,000冊にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
422,000冊	214,000冊	424,000冊	621,000冊	621,000冊	640,000冊



米子人生大学



米子市立図書館

# ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にするまちづくり

まちづくりの基本方向

## 4 生涯学びあい、スポーツを楽しめる社会の実現

### 基本計画 ② スポーツ活動の推進

#### 現況と課題

幼児期における親子体力づくり、小学生を中心とした教室・大会の開催、成人の大会の開催、スポーツ推進委員によるニュースポーツへの取組など、スポーツ活動の推進に努めていますが、少子化などの影響もありスポーツ少年団の団員数や市民体育祭の参加者数は減少傾向にあります。

少子高齢化、核家族化の進展、情報化やライフスタイルの変化などにより、市民のスポーツに対するニーズも多様化していることから、体育協会をはじめとする関係団体などとの連携を強化し、競技力の向上を図るとともに、年齢や性別、障がいなどを問わず、広く市民が、関心や適性などに応じてスポーツに参画することができるよう、環境を整備していく必要があります。

#### 計画目標

- 1 子どものスポーツ活動の機会を充実し、体力、運動能力の向上を図ります。
- 2 スポーツへの意識高揚を図り、生涯スポーツの取組を推進します。
- 3 各種スポーツ団体との連携を深め、競技力の向上に努めます。
- 4 スポーツ施設および公園施設の充実を図ります。

#### 主な施策

- 1 **子どものスポーツ活動の推進**
  - 親子体力づくり大会の開催
  - 少年スポーツ教室の開催
  - 小学生を対象とする各種大会の開催
  - 幼児期からの子どもの運動能力向上事業
- 2 **生涯スポーツ活動の推進**
  - 各種スポーツ大会の開催
  - ニュースポーツ講習会などの開催
- 3 **関係者団体との連携による競技力の向上**
  - スポーツ団体などとの連携強化
  - 体育表彰事業
  - 小学生全国大会出場奨励金交付事業
- 4 **スポーツ施設などの整備**
  - 市民体育館の耐震診断に基づく整備
  - 地区体育館の耐震化
  - 東山陸上競技場の改修
  - 東山庭球場の改修



【関連する個別計画】 米子市教育振興基本計画

## 数値目標

指標名		小学生大会の年間参加者数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標1】 子どものスポーツ活動の機会を充実し、体力、運動能力の向上を図ります。		小学生を対象とするスポーツ大会(3大会)の年間の参加者数を1,400人にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
1,450人	1,240人	1,340人	1,006人	1,006人	1,400人

指標名		各種スポーツ大会の年間参加者数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標2】 スポーツへの意識高揚を図り、生涯スポーツの取組を推進します。		市が主催するスポーツ大会(5大会)の年間の参加者数を1,200人にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
1,226人	1,244人	1,433人	1,108人	1,108人	1,200人



米子市体育協会表彰式



親子体力づくり大会

基本計画 ② スポーツ活動の推進

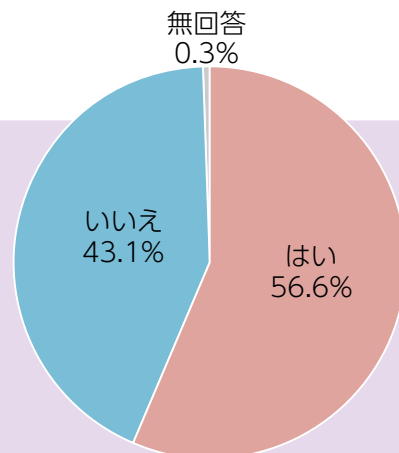
数値目標

指 標 名	① 体育表彰受賞者数				
	② 体育表彰受賞団体数				
対応する計画目標	指 標 の 説 明				
【計画目標3】 各種スポーツ団体との連携を 深め、競技力の向上に努めま す。	米子市体育協会表彰の特別賞、スポーツ賞およびスポーツ奨励賞の受賞に ついて、受賞者数を180件に、受賞団体数を43団体にすることを目標としま す。 ※ 現状値は、過去5年間(平成22年度～平成26年度)の平均値				
① 体育表彰受賞者数					
参 考 値				現 状 値	目 標 値
H23	H24	H25	H26	H22～H26平均	H32
158件	165件	165件	178件	169件	180件
② 体育表彰受賞団体数					
参 考 値				現 状 値	目 標 値
H23	H24	H25	H26	H22～H26平均	H32
40団体	38団体	38団体	42団体	39団体	43団体

参考資料

週1回以上、スポーツ活動  
(散歩、ラジオ体操など軽易な運動を含む) を  
行っている市民の割合

<平成 25 年 まちづくりに関する市民アンケートの結果>







## ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にするまちづくり

まちづくりの基本方向

### 5 互いの人権を尊重しあう社会の実現

## 基本計画 ① 社会における人権啓発の推進

### 現況と課題

本市では、米子市人権施策基本方針・推進プランを定めて、市民一人ひとりが安心して、自信をもって、自由に生活できる社会「人権尊重都市よなご」の実現をめざして、人権啓発を図ってきました。

しかしながら、平成24（2012）年実施の市民意識調査における「外国人に対する意識」、「身元調査に対する意識」および「人権学習事業への参加状況」などの結果によると、市民の人権意識は必ずしも高まっている状況とはいえません。引き続き、地域・家庭・職場などで人権を尊重することの重要性を正しく認識し、他人の人権を尊重した行動がとれるよう人権啓発を推進していく必要があります。

また、本市で起こった拉致問題の解決と拉致被害者などの帰郷をめざして、不断の取組を実施していく必要があります。

### 計画目標

① 「人権尊重都市よなご」の実現をめざして、社会における人権啓発を推進します。

### 主な施策

#### ① 社会における人権啓発

- 人権問題に関する講演会、研修会、研究集会などの開催
- 人権問題の学習に関する情報提供、相談、支援の充実
- 自治会単位での懇談会の開催
- 人権問題市民意識調査の実施
- 関係機関と連携した人権相談活動の推進
- 拉致問題の解決にむけた要望活動の実施と拉致被害者などの受入態勢の整備

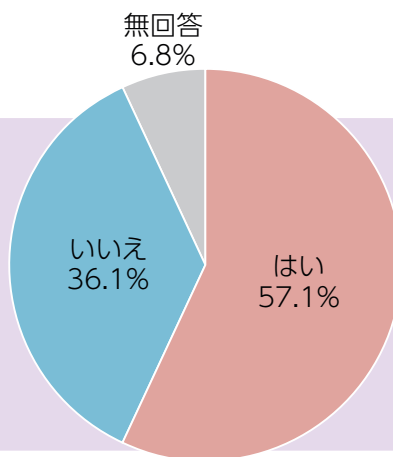
【関連する個別計画】 米子市人権施策基本方針・推進プラン（改訂版）

数値目標

指標名	人権問題に関する講演会、研究集会、懇談会等の参加者数 <年間>				
対応する計画目標	指標の説明				
【計画目標1】 「人権尊重都市よなご」の実現をめざして、社会における人権啓発を推進します。	米子市人権・同和教育研究集会、人権教育地域懇談会、よなご人権フォーラム、誰でも人権アカデミー、企業・職域研修会への市民の参加者数を200人増やし、4,200人にすることを目標とします。				
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
3,920人	3,940人	3,980人	4,000人	4,000人	4,200人

参考資料

身の回りで人権が尊重されていると思う市民の割合



<平成 25 年 まちづくりに関する市民アンケートの結果>



拉致問題の早期解決を願う国民のつどい in 米子

# ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にするまちづくり

まちづくりの基本方向

## 5 互いの人権を尊重しあう社会の実現

### 基本計画 ② 学校における人権教育の推進

#### 現況と課題

本市の学校における人権教育については、「米子市人権教育基本方針・推進プラン」に基づき、同和問題をはじめあらゆる差別の解消にむけた取組を推進してきました。

しかしながら、「いじめ」や「不登校」の存在や障がいのある児童生徒など特定の分野では偏見や差別が払拭されていない現状があります。また、情報化の進展に伴い、個人情報の流出やインターネットによる誹謗中傷・差別書込みなど、新たな人権問題も生じてきています。

児童生徒が人権について正しい理解と認識を学び、人権文化<sup>①</sup>の形成を促す教育を推進していく必要があります。

#### 計画目標

- 1 豊かな人間関係を築く取組と人権教育を推進する体制づくりに努めます。
- 2 人権課題に対する人権教育を推進します。

#### 主な施策

##### ① 豊かな人間関係を築く取組と人権教育を推進する体制づくり

- いのちの大切さを学ぶ人権教育の推進
- 自分に自信と誇りをもてる人権教育の推進
- ちがいを認め合い、豊かにつながる人権教育の推進
- 地域の人権ネットワークづくりの推進
- 人権教育を推進する人材の育成

##### ② 人権課題に対する人権教育の推進

- 同和問題学習の充実
- 多文化共生の視点に立った人権教育の推進
- 障がい者への理解と特別支援教育の推進
- 男女共生教育の推進
- 子どもの人権を大切にする教育の推進
- 高齢者理解の取組の推進
- いのちと体や健康を大切にする教育の推進
- 正しい情報モラルを学び、メディアリテラシー（情報を読み解く力）を育成

#### 【関連する個別計画】 米子市人権教育基本方針・推進プラン（改訂版）



①人権尊重の理念が、家庭・地域・職場・学校などにおいて生活文化として定着していること。

### ③ 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切にするまちづくり

まちづくりの基本方向

## 5 互いの人権を尊重しあう社会の実現

### 基本計画 ③ 同和対策の推進

#### 現況と課題

本市では、同和対策審議会答申の「差別が現存する限り同和行政は積極的に推進されなければならない」という基本理念のもと、同和問題の解決にむけた施策を推進し、残された課題の解決をめざしてきました。

その結果、生活環境などの格差は大きく是正されてきていますが、平成24（2012）年に実施した市民意識調査結果から見ても、引き続き、心理的な差別解消にむけた施策を推進していく必要があります。

#### 計画目標

- 1 差別意識の解消にむけた教育、啓発を推進します。
- 2 同和地区関係者を取り巻く課題の解決にむけた施策を推進します。

#### 主な施策

##### 1 差別意識の解消にむけた教育、啓発の推進

- 学校における同和問題学習の推進
- 社会（地域、PTA、企業など）における意識啓発の推進

##### 2 同和地区関係者を取り巻く課題の解決にむけた施策の推進

- 隣保館、地区会館事業をはじめとする各種同和対策事業の推進
- 差別事象への適切な対応
- 同和地区における学習活動の推進



米子市人権・同和教育研究集会

# 3 『こころ』がいきいき

豊かな心と人を育み、  
人を大切に作るまちづくり

まちづくりの基本方向

## 6 男女がともに輝く社会の実現

### 基本計画 ① 男女共同参画の推進

#### 現況と課題

本市では、女性と男性が性別にとらわれることなく、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現をめざして、「米子市男女共同参画推進条例」や「米子市男女共同参画推進計画」に基づき、さまざまな施策を推進してきました。

しかし、性別による固定的な役割分担意識やそれに基づく慣習など、またDV（ドメスティック・バイオレンス<sup>①</sup>）などの人権侵害も依然として多く存在しています。

男女がお互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、多様な生き方を主体的に選択することができる社会の実現にむけて、男女があらゆる分野に共同して参画し、共に意思決定していくことが求められます。そして市、市民および事業者などが協働して男女共同参画社会の実現をめざして取組を推進していく必要があります。

#### 計画目標

- 1 総合的、計画的に男女共同参画施策を推進します。
- 2 男女共同参画意識の普及啓発を図ります。
- 3 男女共同参画社会の実現のための環境整備を図ります。

#### 主な施策

- 1 総合的、計画的な男女共同参画施策の推進
  - 男女共同参画推進計画の進行管理
  - 市の審議会、委員会などでの女性の登用推進
  - 女性人材バンクの活用
- 2 男女共同参画意識の普及啓発
  - 男女共同参画に関する各種講座などの開催
  - ワーク・ライフ・バランスの啓発
- 3 男女共同参画社会実現のための環境整備
  - DV 被害者などの相談体制の充実
  - 男女共同参画センターの充実

#### 【関連する個別計画】 第2次米子市男女共同参画推進計画



①「Domestic = 家庭内の Violence = 暴力」。夫婦間・パートナー間の暴力をいい、身体的暴力に限らず、精神的、経済的、性的など、あらゆる形の暴力が含まれる。



## 数値目標

指標名		審議会等委員に占める女性の割合			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標1】 総合的、計画的に男女共同参画施策を推進します。		「米子市男女共同参画推進条例」、「米子市審議会等委員選任基準」において、審議会などを構成する委員の男女いずれか一方が40%未満としないよう定めています。 女性人材バンクの活用などにより、女性委員の登用率を40%まで引き上げることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
31.4%	30.7%	31.6%	32.0%	32.0%	40%

指標名		啓発講座参加率			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標2】 男女共同参画意識の普及啓発を図ります。		男女共同参画啓発講座(年8回開催)を市民ニーズの把握や講師選択の適正化などで魅力のある講座内容にすることによって、定員に対する参加率を100%にすることを目標とします。 ※ 1講座あたりの定員 40名			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
80.6%	86.6%	100%	76.9%	76.9%	100%

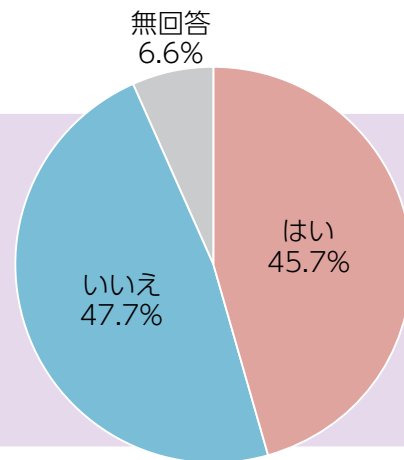
指標名		男女共同参画センターの年間利用者数			
対応する計画目標		指標の説明			
【計画目標3】 男女共同参画社会の実現のための環境整備を図ります。		男女共同参画を推進するための市民の集う拠点施設である男女共同参画センターの充実を図ることで、センターの利用者を年間10,000人にすることを目標とします。			
参考値				現状値	目標値
H23	H24	H25	H26	H26	H32
7,311人	7,684人	8,107人	8,314人	8,314人	10,000人

基本計画 ① 男女共同参画の推進

参考資料

男女が平等に生活していく社会づくりが進んでいると思う市民の割合

<平成 25 年 まちづくりに関する市民アンケートの結果>



男女共同参画講座「しゃべって未来や」  
(在宅ワークをテーマにした講座)

